

CASBEE-建築(新築)2016年版

アルファステイツ田町

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.0
Q1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.6	1.00	3.5
3.1 屋光利用		4.2	0.30	4.0	0.30	
1 屋光率	2.5%以上	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30	
1 屋光制御	庇+カーテン	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性			0.30			3.2
1 機能性		3.4	0.40	3.6	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性	光回線引き込み	3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応	チェックリストにおいて最低限の項目を全て満たしている	3.0	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	磁器質タイル=50年	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					2.6	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	-	0.60
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性			3.2	1.00			
1	空調配管の更新性	構造部材を傷めることなく修繕・更新ができる	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		4.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LH 建築物の環境負荷低減性							3.6
LR1 エネルギー				0.40			4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	品確法等級4相当	5.0	0.20			5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.70	5.0	0.50			5.0
4	効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-			
4.2	運用管理体制		3.0	-			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0	1.00			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.0
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1	節水	節水型便器を採用	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60			3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	造作に集成材を使用	3.0	0.22			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2換算スコア=3.6	3.6	0.33			3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3	光害の抑制		3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			